

農林水産省・文部科学省後援

合格への
必須
アイテム

2024年版

日本農業技術検定 過去問題集

日本農業技術検定協会

事務局 一般社団法人
全国農業会議所 編



3級

試験問題6回分
(2021・2022・2023年度)
を収録

はじめに

新たに農業を始める人たちにとって、農業の魅力とは何でしょう。それはズバリ、自然豊かな環境や農的な生き方、ビジネスとしての可能性であり、食料安全保障の確立や環境保全への貢献にやりがいを感じる人もいないのでしょうか。

農業は、食料や花などを生産する第1次産業であると同時に、生産した農作物を自ら加工して付加価値をつける第2次産業、さらには直売店やインターネットを通して販売したり、農家レストランを出店するなどの第3次産業としての性格を持っています。自然に囲まれた農村での暮らしを満喫しながら、自ら経営の采配をふるうことが可能です。また、独立就農以外にも、農業法人に就職してから就農する道もあります。このような「生き方と働き方の新たな選択」にあこがれて、いま農業を志す人たちが増えています。

しかしながら、農業の経験や知識も少ないなかで就農することは容易ではありません。農業の技術は日々進歩しており、経営環境も変わっています。農業は事業であり、農業者は事業の経営者であるという冷厳な事実があります。

日本農業技術検定は、農林水産省・文部科学省後援による、農業や食品を学ぶ学生や農業・食品産業を仕事にする人のための、全国統一の農業専門の検定制度です。新規就農を希望する人だけでなく、農業関連産業を目指す全国の多くの農業系の学生をはじめ、JAの営農指導員等の職員や農業関係者の方々も多数受験して、農業の知識や技術習得によるキャリアアップに活用されています。

意欲だけでは農業や関連産業で仕事はできません。まずは日本農業技術検定で、あなたの農業についての知識・生産技術の習得レベルを試してみたいかがでしょう。本検定を農業分野への進学、就業、関連産業への就職に役立てていただけると幸いです。

本書には、2021年度から2023年度までの3カ年の試験問題を合わせた計6回分を収録しています。3級受験にあたっては、本過去問題集で出題内容の傾向を確認するほか、農業高等学校教科書や3級テキストを参考に勉強されることをお勧めします。

2024年4月

日本農業技術検定協会
事務局・一般社団法人 全国農業会議所

本書活用の留意点

◆実際の試験問題は A4判のカラーです。

本書は、持ち運びに便利のように、A4判より小さい A5判としました。また、試験問題の写真部分は本書の巻頭ページにカラーで掲載しています。

◆◆CONTENTS◆◆

はじめに
本書活用の留意点

日本農業技術検定ガイド

1	検定の概要	2	
2	勉強方法と試験の傾向	6	
3	出題領域	8	
2023年度	第1回	試験問題	13
2023年度	第2回	試験問題	57
2022年度	第1回	試験問題	97
2022年度	第2回	試験問題	139
2021年度	第1回	試験問題	183
2021年度	第2回	試験問題	225

解答・解説編 (別冊)

解答一覧	2
2023年度 第1回 解説	8
2023年度 第2回 解説	26
2022年度 第1回 解説	44
2022年度 第2回 解説	61
2021年度 第1回 解説	79
2021年度 第2回 解説	96
解答用紙	113

日本農業技術検定 ガイド

1 検定の概要

● ● ● 日本農業技術検定とは？ ● ● ●

日本農業技術検定は、わが国の農業現場への新規就農のほか、農業系大学への進学、農業法人や関連企業等への就業を目指す学生や社会人を対象として、農業知識や技術の習得水準を客観的に把握し、教育研修の効果を高めることを目的とした農業専門の全国統一の試験制度です。農林水産省・文部科学省の後援も受けています。

● ● ● 合格のメリットは？ ● ● ●

合格者には農業大学校や農業系大学への推薦入学で有利になったり受験料の減免などもあります！ また、新規就農希望者にとっては、農業法人への就農の際のアピール・ポイントとして活用できます。JA など社会人として農業関連分野で働いている方も資質向上のために受験しています。大学生にとっては就職にあたりキャリアアップの証明になります。海外農業研修への参加を考えている場合にも、日本農業技術検定を取得していると、筆記試験が免除となる場合があります。

● ● ● 試験の日程は？ ● ● ●

2024年度の第1回試験日は7月6日（土）、第2回試験日は12月7日（土）です。第1回の申込受付期間は4月25日（木）～5月31日（金）、第2回は9月30日（月）～10月31日（木）となります。

※1級試験は第2回（12月）のみ実施。



● ● ● 具体的な試験内容は？ ● ● ●

1級・2級・3級についてご紹介します。試験内容を確認して過去問題を勉強し、しっかり準備をして試験に挑みましょう！

(2019年度より)

等級		1級	2級	3級
想定レベル		農業の高度な知識・技術を習得している実践レベル	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	農作業の意味が理解できる入門レベル
試験方法		学科試験＋実技試験	学科試験＋実技試験	学科試験のみ
学科試験	受検資格	特になし	特になし	特になし
	出題範囲	共通：農業一般 ＋ 選択：作物、野菜、花き、果樹、畜産、食品から1科目選択	共通：農業一般 ＋ 選択：作物、野菜、花き、果樹、畜産、食品から1科目選択	共通：農業基礎 ＋ 選択：栽培系、畜産系、食品系、環境系から1科目選択
	問題数	学科60問 (共通20問、選択40問)	学科50問 (共通10問、選択40問)	50問 (共通30問、選択20問) 環境系の選択20問のうち10問は3分野(造園、農業土木、林業)から1つを選択
	回答方式	マークシート方式 (5者択一)	マークシート方式 (5者択一)	マークシート方式 (4者択一)
	試験時間	90分	60分	40分
	合格基準	120点満点中 原則70%以上	100点満点中 原則70%以上	100点満点中 原則60%以上
実技試験	受検資格	受験資格あり※1	受験資格あり※2	－
	出題範囲	専門科目から1科目選択する生産要素記述試験(ペーパーテスト)を実施(免除規定あり)	乗用トラクタ、歩行型トラクタ、刈払機、背負い式防除機から2機種を選択し、ほ場での実地研修試験(免除規定あり)	－

※1 1級の学科試験合格者。2年以上の就農経験を有する者または検定協会が定める事項に適合する者(JA 営農指導員、普及指導員、大学等付属農場の技術職員、農学系大学生等で農場実習等4単位以上を取得している場合)は実技試験免除制度があります(詳しくは、日本農業技術検定ホームページをご確認ください)。

※2 2級の学科試験合格者。1年以上の就農経験を有する者または農業高校・農業大学校など2級実技水準に相当する内容を授業などで受講した者、JA 営農指導員、普及指導員、大学等付属農場の技術職員、学校等が主催する任意の講習会を受講した者は2級実技の免除規定が適用されます。

2023年度 第1回（7月8日実施）

日本農業技術検定 3級 試験問題

- ◎受験にあたっては、試験官の指示に従って下さい。
指示があるまで、問題用紙をめくらないで下さい。
- ◎受験者氏名、受験番号、選択科目の記入を忘れないで下さい。
- ◎問題は全部で50問あります。1～30が農業基礎、31～50が選択科目です。
- ◎選択科目は4科目のなかから1科目だけ選び、解答用紙に選択した科目をマークして下さい。選択科目のマークが未記入の場合には、得点となりません。
環境系の41～50は造園、農業土木、林業から更に1つ選んで下さい。
選択科目のマークが未記入の場合には、得点となりません。
- ◎すべての問題において正答は1つです。1つだけマークして下さい。
2つ以上マークした場合には、得点となりません。
- ◎総解答数は、どの選択科目とも50問です。それ以上解答しないで下さい。
- ◎試験時間は40分です（名前や受験番号の記入時間を除く）。

【選択科目】

栽培系	p.24～30
畜産系	p.31～36
食品系	p.37～41
環境系	p.42～56

解答一覧は、「解答・解説編」（別冊）の2ページにあります。

日付			
点数			

農業基礎

1

種子繁殖に関係する器官として、最も適切なものを選びなさい。

- ①根
- ②葉
- ③茎
- ④花

2

土の団粒構造をつくる方法として、最も適切なものを選びなさい。

- ①化学肥料の多用
- ②有機物の投入
- ③土壤消毒の実施
- ④大量のかん水

3

イネのたねまきの前に、たねもみに行う消毒、浸種、催芽などの一連の作業を何というか、最も適切なものを選びなさい。

- ①予措
- ②作期
- ③春化
- ④登熟

4

光があたると発芽しやすい明発芽種子（好光性種子）の植物として、最も適切なものを選びなさい。

- ①トウモロコシ
- ②トマト
- ③ハクサイ
- ④スイカ